

慶應義塾大学ビジネス・スクール

BASF

5

— 素材（化学）産業の経営戦略 —

（はじめに）

10

BASF (Badische Anilin&Soda – Fabrik) は 41 カ国で生産設備を稼働し 170 カ国以上に顧客を持つ世界の化学業界のリーディングカンパニーである。BASF の製品群は化学品、プラスチック、高機能製品、農薬、ファインケミカルから原油、天然ガスに至るまで多岐にわたり、高度なソリューションと高品質な製品によって顧客の成功をサポートしている。また、BASF は、経済性を環境保護や安全・衛生問題よりも優先させないという持続可能な発展のコンセプトを企業戦略の根幹に置いており、すべての企業活動がこの枠組みの中で行われている。2005 年、BASF は世界中で 8 万 1 千人の従業員を有し、427 億ユーロ（約 6 兆円）を超える売上げを計上した。

15

今後も BASF は、この 10 年間に於いて劇的に統合再編が進んできた世界の化学産業のトップ企業として、「BASF2015」という長期的な目標を掲げ、持続的な成長を目指している。

20

（BASF の歩み）

（1865–1901：創立期）

BASF (Badische Anilin&Soda – Fabrik) は 1865 年にフリードリヒ・エンゲルホーンによって設立された。当時の繊維産業の発展から、設立当時はコールタール染料・アニリン染料を主な製品としていた。設立後 10 数年間に様々な染料の開発に着手・成功し、1871 年には赤色染料のアリザリンの販売を開始するなどして、世界染料市場において中核の地位を築いた。その後も数々

25

本ケースは、慶應義塾大学経営管理研究科の許斐義信教授の指導のもと、経営管理研究科の竹嶋泰弘が作成した。経営上の適切あるいは不適切な状況を例示するものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8523 神奈川県横浜市港北区日吉本町2丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> 慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 許斐義信（2006 年 6 月作成）